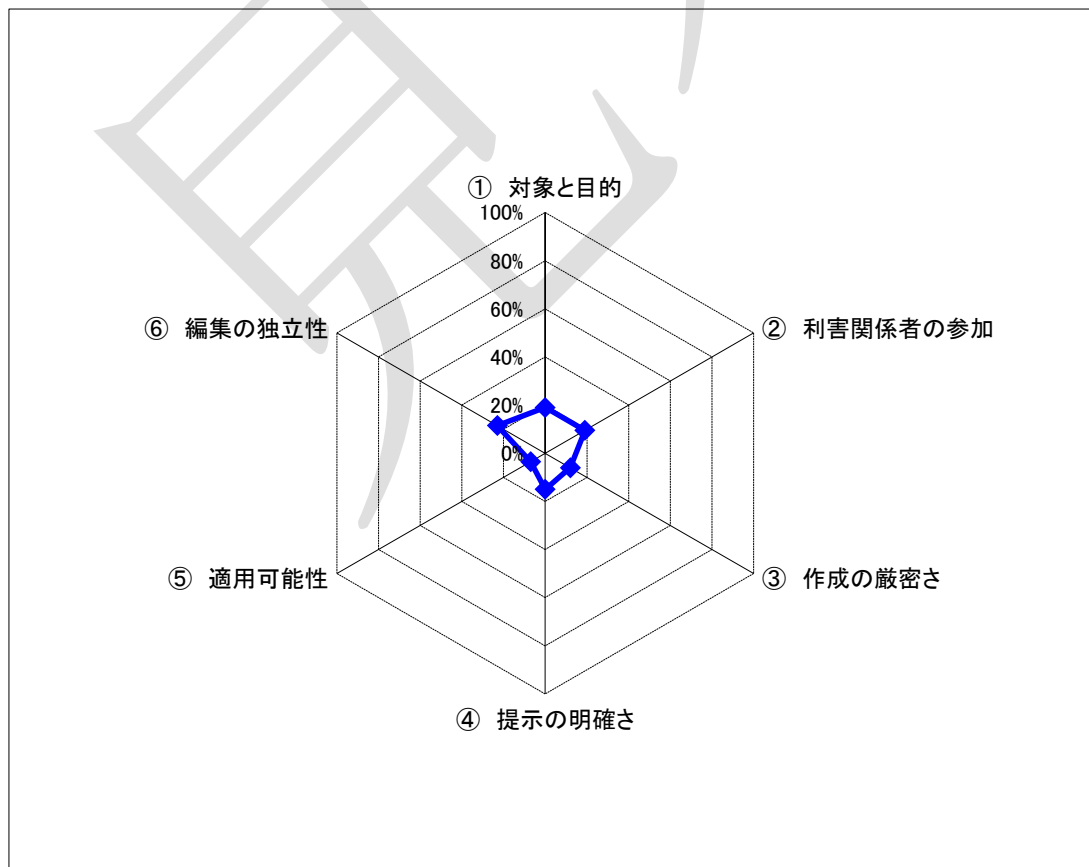


診療ガイドライン評価結果レポートの一例

※当事業における診療ガイドラインの評価には The Appraisal of Guidelines for Research & Evaluation II (AGREE II) 評価表を用いており、主に診療ガイドライン上の記載内容を基に、作成方法に焦点をあてた評価を行っています。

1. 領域別評価と全体評価結果

領域	領域別標準化スコア
① 対象と目的	19%
② 利害関係者の参加	19%
③ 作成の厳密さ	12%
④ 提示の明確さ	15%
⑤ 適用可能性	7%
⑥ 編集の独立性	23%
⑦ 全体評価	17%



2. 主な領域別改善ポイント

①対象と目的

この領域では、診療ガイドライン全体の目的や取り扱う健康上の課題、想定される対象集団の記載について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、以下の諸点について詳細かつ明瞭な記載が求められます。

- 本ガイドラインの全体的な目的。
- 本ガイドラインが取り扱う個々の臨床的な課題。
- 本ガイドラインを適用することが想定される対象集団（患者等）の定義。

②利害関係者の参加

この領域では、診療ガイドラインが適切な利害関係者によって作成されているか、想定される適用対象者の視点を考慮して作成されているかに焦点を当てて評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、以下の諸点について詳細かつ明瞭な記載が求められます。

- 本ガイドラインの作成にどのような人々がどのような役割で関わったか。
- 本ガイドラインの適用対象者となる集団（患者等）の視点や希望に関する情報をどのように集めたか。またその内容をどのようにガイドラインに反映したか。
- 本ガイドラインは誰にどのように利用されることを想定しているか。

③作成の厳密さ

この領域では、診療ガイドラインの作成方法の記載について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、以下の諸点について詳細かつ明瞭な記載が求められます。

- 本ガイドラインの作成のためのエビデンス検索方法。
- 検索したエビデンスの中から、エビデンスを採用・除外した基準。
- 採用した個々のエビデンスのバイアスをどのように評価し、エビデンスを統合した際にどのように解釈したか。
- 推奨を作成した方法・プロセス。
- 検討した介入方法の利益、副作用、リスクをどのように評価し、推奨作成にどのように反映したか。
- 推奨と推奨作成に用いたエビデンスとの関連性。
- 本ガイドラインの公開に先立って実施した外部評価の方法および結果。またその結果をどのようにガイドラインに反映したか。
- 本ガイドラインの今後の改訂予定および手続き。

④提示の明確さ

この領域では、診療ガイドラインで推奨する内容が明確に提示されているかどうか評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、以下の諸点について詳細かつ明瞭な記載が求められます。

- どのような状況で、どのような対象者に、どのような介入を行うべきかを推奨で具体的に提示しているか。
- 対象患者の状態や臨床的課題に応じた様々な選択肢。
- 本ガイドラインのどこに重要な推奨が記載されているかが容易に分かるように提示しているか。

⑤適用可能性

この領域では、診療ガイドラインの利用を促すための戦略や資源に関する情報の記載について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、以下の諸点について詳細かつ明瞭な記載が求められます。

- 本ガイドラインの活用を促進する要因および阻害する要因。
- 本ガイドラインが効果的に活用されるために提供している追加的な資料やツール。
- 本ガイドラインの推奨の適用にあたって考慮すべき資源（医療費）。
- 本ガイドラインの推奨の適用にあたって考慮すべきモニタリング・監査のための基準。

⑥編集の独立性

この領域では、診療ガイドライン作成のための資金源や利益相反の開示について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、以下の諸点について詳細かつ明瞭な記載が求められます。

- 本ガイドラインを作成するための資金提供者の情報および資金提供者の意向や利益が内容に影響していないか。
- 本ガイドラインの作成に関わった人の利益相反の開示および利益相反があった場合の対応。

3. 総評

本書は大変重要なテーマを扱っていますが、診療ガイドラインとしては、系統だった文献検索、エビデンスの評価に関する記述がほとんど認められないため、その検索や評価が系統的になされているか、恣意的でないか、再現性があるか、という点では疑問を感じます。推奨作成についても同様であり、系統的なエビデンス評価から導きだせることと専門家としての見解が混在している印象を受けます。次回の改訂に向け、上記の改善点についてご検討ください。

AGREE II 評価表(項目別平均値)【見本】

ガイドライン名：
作成団体名：

取扱注意

領域	領域説明文	項目	項目別平均値 (1-7)
1 対象と目的 (Scope and Purpose)	この領域では、診療ガイドライン全体の目的や取り扱い健康上の課題、想定される対象集団の記載について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、右記の項目1-3について詳細かつ明瞭な記載が求められます。	1 ガイドライン全体の目的が具体的に記載されている。	
		2 ガイドラインが取り扱い健康上の問題が具体的に記載されている。	
		3 ガイドラインの適用が想定される対象集団(患者、一般市民など)が具体的に記載されている。	
2 利害関係者の参加 (Stakeholder Involvement)	この領域では、診療ガイドラインが適切な利害関係者によって作成されているか、想定される適用対象者の視点を考慮して作成されているかに焦点を当てて評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、右記の項目4-6について詳細かつ明瞭な記載が求められます。	4 ガイドライン作成グループには、関係する全ての専門家グループの代表者が加わっている。	
		5 対象集団(患者、一般市民など)の価値観や希望が調べられた。	
		6 ガイドラインの利用者が明確に定義されている。	
3 作成の厳密さ (Rigour of Development)	この領域では、診療ガイドラインの作成方法の記載について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、右記の項目7-14について詳細かつ明瞭な記載が求められます。	7 エビデンスを検索するために系統的な方法が用いられている。	
		8 エビデンスの選択基準が明確に記載されている。	
		9 エビデンス総体(body of evidence)の強固さと限界が明確に記載されている。	
		10 推奨を作成する方法が明確に記載されている。	
		11 推奨の作成にあたって、健康上の利益、副作用、リスクが考慮されている。	
		12 推奨とそれを支持するエビデンスとの対応関係が明確である。	
		13 ガイドラインの公表に先立って、専門家による外部評価がなされている。	
4 提示の明確さ (Clarity of Presentation)	この領域では、診療ガイドラインで推奨する内容が明確に提示されているかどうか評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、右記の項目15-17について詳細かつ明瞭な記載が求められます。	15 推奨が具体的であり、曖昧でない。	
		16 患者の状態や健康上の問題に応じて、異なる選択肢が明確に示されている。	
		17 重要な推奨が容易に見つけられる。	
5 適用可能性 (Applicability)	この領域では、診療ガイドラインの利用を促すための戦略や資源に関する情報の記載について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、右記の項目18-21について詳細かつ明瞭な記載が求められます。	18 ガイドラインの適用にあたっての促進要因と阻害要因が記載されている。	
		19 どのように推奨を適用するかについての助言・ツールを提供している。	
		20 推奨の適用に対する、潜在的な資源の影響が考慮されている。	
		21 ガイドラインにモニタリングや監査のための基準が示されている。	
6 編集の独立性 (Editorial Independence)	この領域では、診療ガイドライン作成のための資金源や利益相反の開示について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、右記の項目22-23について詳細かつ明瞭な記載が求められます。	22 資金提供者の見解が、ガイドラインの内容に影響していない。	
		23 ガイドライン作成グループメンバーの利益相反が記録され、適切な対応がなされている。	